

ヒブワクチン（アクトヒブ）

b 型インフルエンザ菌（Hib）による細菌性髄膜炎、菌血症、喉頭蓋炎を予防します。

→[Hib 感染症](#)

スケジュール

生後 2 か月に 1 回目、その後 2 回目、3 回目をそれぞれ 4 週間以上あけて接種します。

4 回目（追加接種）は 3 回目から 7 か月以上あけて 1 歳を過ぎたらすぐに接種します。

生後 7 か月までに 1 回目の接種ができなかった方はご相談ください。

Hib 感染症は細菌性髄膜炎、菌血症、喉頭蓋炎などを起こし、1 歳未満で感染すると死亡や後遺症を残すこともある怖い病気ですが、予防接種によりほとんど予防ができるので早めの接種が大事です。Hib ワクチンが定期接種になりワクチン接種した赤ちゃんが重大な感染を起こすのはほぼ 0 になりました。最近でも毎年全国で 10~20 人が Hib に感染していますがそのほとんどがワクチン接種をしていませんでした。病気が重だけでなく早期診断が難しく、抗生物質が効かない耐性菌も多いので、**必ず生後 2 か月から小児用肺炎球菌ワクチン、B 型肝炎ワクチンと同時接種で受けましょう。**可能であればロタウイルスワクチン（自費）も同時に受けてください。

インフルエンザ菌は冬に流行するインフルエンザ（ウイルス）とは全く別の感染症で関係ありません。

副反応

局所反応が多く見られます。接種したところに発赤や腫れがみられることがよくあります。しばらく小さなしこりが残る（硬結）こともあります。自然になくなりますので心配ありません。

接種した当日、翌日に発熱することも時々あります。